



# ゴロスケ報々



## ●横浜自然観察の森まるごと体験●

## 共催行事のお知らせ

10月22日(日) 10:00~13:40 (受付9:45~) スタッフ集合 9:30  
(観察センター、友の会共催行事)

申し込み: 9月11日から 先着順30名

8つのPJが、工夫を凝らした内容で、ミニ体験や展示解説を行います。  
行事などで参加を呼びかけてください。詳しくはセンター、ごろすけ館のチラシをご覧ください。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

### ●9月定例会・理事会報告●

9月17日に予定していた定例会・理事会については、大型台風と前線の接近に伴い中止としました。

当日、結果的には関東地方に大きな影響はありませんでしたが、会員の安全と連絡の時間的余裕を優先し前日早めに判断しました。

予定議題等については以下の対応としました。

運営委員・理事各位及び事務局の皆様には大変お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。（山口）

<定例会> ・報告・予定は定例会メモ等をメーリングリストにより配布・確認  
・行事や編集等の役割分担は同様に事務局から連絡・確認  
・对外活動（区民まつり出展内容等）は事務局とレンジャーで調整  
・その他事項はメーリングリストにより連絡・調整

<理事会> ・30周年各部会作業に充てていたため、次回へ持ち越し  
（その他の次回議題：中間報告・次年度方針、安全管理、ほか）

次回は、11月19日（日）です。

## 定例行事の報告

### ●森を守るボランティア体験(8月) 報告●

8月20日の森ボラはハンミョウの会が担当させていただきました。

参加者は、友の会行事に参加経験のある方1名・観察の森が初めてのご家族3名・野鳥の会インターンの学生さん3名でした。

定例行事「季節の森を歩こう」と同じ形式で森の生き物達の暮らしに触れながら、ゴロスケ館や炭焼き小屋・畑では友の会の活動紹介をしました。

最後の質疑応答では多くの質問をいただき、友の会の活動に興味を持っていただけたようでした。

## 植物のカタカナ名前

「自然と遊ぼう」では森の中でいろいろ宝探しをする時、匂いのする草木を探してみる時があります。

良く見つけるものに「ヨモギ」「ドクダミ」「ヘクソカズラ」「クサギ」「コクサギ」「クスノキ」などがありますが、名前を伏せたまま、その匂いが「好きか」「嫌いか」聞いてみると、意外に「好き」という答えが多く返ってきます。子供達は先入観なしに、大人の方々は、案内するスタッフが「そんな悪いものを案内するはずがない」と忖度されるのでしょうか。

「ドクダミ」は「爽やかな」、「ヘクソカズラ」は「野菜サラダや枝豆のよう」などと聞かされるのです。

近頃は植物などの名前はカタカナで表すのが一般的ですが「屁糞蔓」と聞けば初めから悪臭を連想して嫌われてしまうようです。

「クサギ」「コクサギ」も聞いただけで臭いものと思いこんでしまいそうです。

「クサギ」はゴマやピーナッツのよう、「コクサギ」は柑橘類の香りなどと好評です。

カタカナ名前で損をしていそうなものに「イヌセンブリ」とか「イヌビワ」「イヌドクサ」とかが森で見かけますが「犬干振」「犬琵琶」「犬砥草」と書かれると大分印象が違ってきます。

「犬」が付くと「似て非なるもの」で本物より劣るものになりますが、決してそうと決まったものではないことは実物をご覧になれば納得できることでしょう。

ここ横浜自然観察の森にはありませんが「オオカメノキ・大亀の木」というガマズミの仲間があります。

以前私が教わった時には「オオバカメノキ・大葉亀の木」と教えられたように覚えていましたが「大馬鹿めの木」と間違えられそうだからでしょうか最近の図鑑では「オオカメノキ」としか見当たりません。

「クズ」は「屑」か「葛」なのか、ハイケボタルの湿地で見られる「アカバナ」は「赤鼻」か「赤花」か、「クサレダマ」は「腐れ玉」か「草連玉」か、トンボ池に咲く「ホシクサ」は「干し草」か「星草」なのか。

「ママコノシリヌグイ・継子の尻拭い」なんて児童虐待の道具みたいな怖い名前などもあります。

カタカナと漢字とでは大分印象が違ってきます。本来の名前の由来を調べてみるのも楽しみの一つではありませんか。

(村松)

## 定例行事の報告

### ●森の絵本づくりの会 活動報告●

8月は森の絵本づくりの会の定例行事の“森の絵本を楽しもう”をお休みし、読み聞かせのお勉強会をしました。

新作「月夜のおまつり」を読みました。

この絵本を初めて読んでみると難しく感じるところがありました。

「月夜のおまつり」は森の夕陽から始まり、月の光にカラスウリの花が満開になります。

先ずはそれぞれのページの絵のきれいさを見てもらい、読み進めるのが良いのではとなりました。

「森からのおねがい」も読んでみました。この絵本は森のいきものを持っていかないと森に置いていかないと訴えました。ちょっと暗くなりそうなのでたんと読むことになりました。

“森の絵本を楽しもう”では参加した子供たちが選んだ絵本を読んでいます。

突然にやって来る参加者にドキドキしながらの読み聞かせだったりします。

ですから時にはこの様な時間が大切だと思いました。

森の絵本づくりの会 志釜じゅんこう

---

## 友の会活動報告

### ●ミズキの池ハイド前の環境整備 報告●

ミズキの池ハイド前の環境整備を行いました。

1. 日時 : 2017年9月3日 9時~10時半
2. 参加者 : スタッフ5名、会員参加者0名

夏の間ハイド前に繁茂していた草を刈り、覗き窓からの池の見通しを良くしました。池を訪れる野鳥や水面を飛び交うトンボが観察し易くなりましたので、是非皆さんハイドを訪れて下さい。

カワセミファンクラブ 大浦

## 友の会行事のお知らせ

### ●いつでもどこでも身近な自然の案内人講座●

身近な自然の素材を使って、生きものたちのくらしやそのつながりを分かりやすく伝える自然案内「インタープリテーション」、そのスキルとプログラムの作り方を体験的に学ぶ二日間の講座です。

日時：2017年11月4日～5日 9時30分～16時00分（両日共）

会場：横浜自然観察の森

参加費：1000円（2日間で ※横浜自然観察の森友の会会員は500円）

定員：先着30名

対象：どなたでも

申し込み：10月30日までに以下のアドレスまでメールで申し込みをしてください。

申し込み・問い合わせ先：kansatsunomori@gmail.com

持ち物：野外活動できる服装（長袖・長ズボン・帽子）・昼食・筆記用具・あればルーペ・双眼鏡など  
森の案内人ハンミョウの会

### ●望年会●

恒例の「望年会」が下記の通りに開催されます。

今年最後のイベント、暮れの忙しいときですが、奮ってご参加ください。

1. 開催日 : 平成29年12月23日（土曜日・祝日）
2. 会場 : 観察センター&ゴロスケ館前
3. 集合 : 9時
4. 対象 : 友の会会員および その家族
5. 服装、持ち物 : 多少よごれてもよい服装、飲み物、軍手

### ●中止になった「みんなで友の会のこれからを考えるワークショップ」1月21日に開催します●

9月17日に開催をご案内していた「みんなで友の会のこれからを考えるワークショップ」は、台風の接近で中止させていただきました。

代替の開催日を調整し、少し先になりますが、下記の通り再設定をすることになりました。

会員の皆さんと、30周年を越え、これからの横浜自然観察の森や友の会の課題や方向性を語り合いたいと考えています。

詳細は、次回のゴロ報でご案内しますが、ぜひ日程をご予定ください。

日時：1月21日（日）13時～16時30分 雨天実施

場所：横浜自然観察の森 自然観察センター 研修室

**【報告】★保全管理懇談会 第3回★** 9月2日(土) 13:00~16:00

○講師：槐真史さん(厚木市郷土資料館学芸員)

○参加者 友の会 12名 (村松古明さん、佐々木美雪さん、佐々木彩愛さん、佐々木惺也さん、谷垣勝彦さん、張間信子さん、水上重人さん、石川裕一さん、西山健太郎さん、落合道夫さん、田中浩子さん、田中滉大さん) 横浜市(菊池昌人さん) レンジャー(掛下尚一郎、黒川麻紀野)

○内容 バッタ類の生息環境特性について講義を受けたのち、捕虫網と虫かごをもってピクニック広場及び桜林にてバッタ類採集を行いました。ピクニック広場では元気に飛び回るトノサマバッタに翻弄されながら、桜林では見事にカモフラージュしてなかなか見つけられないバッタたちとの根競べをしながら捕獲できたバッタの個体数を確認しました。ピクニック広場ではトノサマバッタ 17匹、ショウリョウバッタ 6匹、オンブバッタ 5匹、ツチイナゴ 5匹、桜林ではオンブバッタ 21匹、ショウリョウバッタ 2匹、ツチイナゴ 2匹、コバネイナゴ 1匹。ピクニック広場は朝比奈調整池の耐震工事によって裸地化したことでその環境を好むトノサマバッタがふえたことがわかりました。桜林は 2013 年の調査結果と比較するとタンザワフキバッタが確認できなくなったことから林地が明るくなったことが示唆されたが、見つからなかっただけの可能性も考えられる。今回の成果をもとに今後もモニタリングしていきたい、桜林やこれから検討するピクニック広場の指標の一つになればと思っています。

**【募集】★保全管理フォローアップの会 第4回**

**11月3日(金・祝) 13:00~16:00 検討会「ピクニック広場の草地を考えよう」**

**講師：中村幸人先生(東京農業大学元教授)**

○内容 朝比奈調整池の耐震工事によって裸地化したピクニック広場を、2013年発行の保全管理計画で立てた草地環境にしていくための検討会を行います。中村先生からアドバイスを頂きながらどのように草地環境を復元していくか、皆さんといっしょに考えていきたいと思えます。

◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下か黒川までご連絡ください。

**【訂正】**7月1日(土)開催 保全管理フォローアップの会第2回の友の会からの参加者に漏れがありました。申し訳ございません。参加されたのは以下のみなさまです。

友の会 12名(藤原功さん、落合道夫さん、渡部克哉さん、篠原由紀子さん、佐々木美雪さん、谷垣勝彦さん、吉田賢一さん、関根和彦さん、西山健太郎さん、和田全弘さん、村松古明さん、中里幹久さん)

**【報告】クツワムシ分布調査(8/12・19・26・9/2・9)** 林縁環境のモニタリングのために毎週土曜日に実施しましたが8/19は雨で途中中止、8/23に残りの調査を行いました。初日8/12は2頭、最大は8/19で12頭以上、最終日の9/9は4頭を記録しました。今年は例年より個体数が少なく例年確認されているモンキチョウ広場やミズキの道・コナラの道分岐6番付近では1頭も確認できませんでした。

**【募集】●アライグマ捕獲ワナの巡回ボランティアを募集しています**

今シーズンもアライグマの捕獲をおこないます。ワナによる捕獲には日々の巡回が必要なため、今回も巡回のお手伝いをしていただくボランティアを新規に募集いたします。

◆内容 11月~3月のご都合のよい平日午前中(30分~1時間程度)ワナを巡回し、捕獲の有無とエサの補充をしていただきます。★詳しくは掛下までご連絡ください。(電子メールは [kakesita@wbsj.org](mailto:kakesita@wbsj.org)) どうぞよろしくお願いいたします。

## 【予告】企画展後期「横浜にもともといなかった生きもの展（仮題）」

有毒のヒアリの話題にわいたこの夏、改めて外来生物の脅威を感じさせられました。観察の森には身体的な被害につながるような種は見つかっていませんが、多くの外来生物がすでに入ってきています。それらは、少しずつ、少しずつ、森の生態系を本来の姿から変えていってしまっています。私たちの生活の基盤である自然環境を、将来的に大きく狂わせてしまうかもしれません。本展示では、観察の森に暮らす外来生物をまず知り、どんな調査や対策が取られているか？私たちがすぐできることは何か？ご紹介していきたいと思います。「え、よく見るこの生きものも、もともと森にいなかったものなの??」という気づきがあるかもしれません。

★11月上旬より、3月末まで開催予定です。

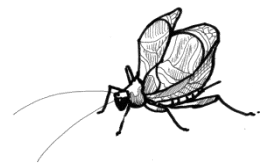
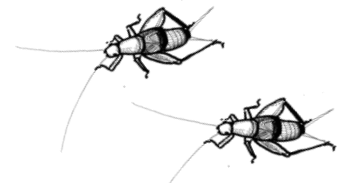


ホランテアSW

\*\* 8/1~9/30 \*\*

ありがとう

- 8/1~ カワセミファンクラブの皆さん  
〔展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供〕
- 8/1~ 野草の調査と保護プロジェクトの皆さん  
〔開花情報のご提供〕
- 8/5 雑木林ファンクラブのみなさま〔ストーブ用薪の提供〕
- 8/5 雑木林ファンクラブのみなさま  
畑プロジェクトのみなさま〔関係者駐車場の草刈り〕
- 8/6 森の案内人ハンミョウの会の皆さん  
：アクションポート横浜のインターン学生(横浜市大2名)、社会貢献実習(湘南工科大)受入れ
- 8/12~9/9 石川裕一さん、佐々木美雪さん・彩愛さん、水上重人さん、村上拓司さん  
：フォローアップ・クツワムシ調査
- 8/13 鳥のくらし発見隊のみなさま〔野鳥情報の提供〕
- 8/30 雑木林ファンクラブのみなさま〔モンキチョウの広場のつる草とり〕
- 9/10 鳥のくらし発見隊のみなさま〔野鳥情報の提供〕
- 9/16 雑木林ファンクラブのみなさま〔ストーブ用薪の提供〕
- 9/23 カワセミファンクラブ 石川裕一さん  
季節の森を歩こう 村上拓司さん  
鳥のくらし発見隊 矢島静さん〔センター主催行事へのご協力〕



イラスト：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892  
E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

# 行事スケジュール 10月～12月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●友の会 季節行事●

- いつでもどこでも身近な自然の案内人講座  
11/4(土)～5(日) →5ページ参照
- 望年会  
12/23(土・祝) →5ページ参照
- みんなで友の会のこれからを考えるワークショップ  
1/21(日) →5ページ参照

## ●自然観察センター主催行事●

### ■つながりの森を歩こう

11/23(木・祝)

港南台から横浜自然観察の森を歩きます。

時間：9時半～14時

※雨天時延期：11/26(日)

対象：中学生以上 30名(抽選)

申込：11/10(金)までに要申込

方法はHPやチラシ参照

### ■幼児向け 生きもののであう森さんぽ

12/2(土)・12/3(日)

レンジャーといっしょに森の自然を観察しよう!

時間：各回10時～12時

(各回同一内容・雨天決行)

対象：3～6歳の未就学児とその保護者各回40名(抽選)

申込：11/18(土)までに要申込

方法はHPやチラシ参照

※自然観察センターの連絡先は7ページに記載

## ●共催行事●

### ★横浜自然観察の森まるごと体験

10/22(日)

10:00～13:40(受付9:45～)

申込：先着順30名 →1ページ参照

### ★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の活動内容紹介とルールを～

12/17(日) 9:30～14:00 雨天催行

受付：直接、自然観察センターの研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

\*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

## ●友の会 定例行事●

### ●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

11/5(日)・12/3(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

### ●定点カメラで動物調査

11/11(土)

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参

集合：ゴロスケ館集合

活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

### ●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

11/12(日)・12/10(日)

9:00～13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

### ●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

11/15(水)・12/20(水)

10:30～12:00 絵本作製

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

### ●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

11/18(土)・12/16(土)

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

### ●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

11/25(土)・12/9(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2017年10月18日  
発行 横浜自然観察の森友の会  
F A X 045-894-8892  
E-mail: kansatsunomori@gmail.com